



### 令和5年度 学校夢づくりプロジェクト

## 日吉台ほっとステーション 完成！

大津市の小中学校が取り組んでいる「学校夢づくりプロジェクト」は今年で3年目になります。日吉台小学校では、一年目は中庭の池の横にひよし君の絵を、6年生が成安造形大学の学生さんの協力のもと描きました。去年は、地域の方々にご協力いただき、木製の机と椅子を作成しました。そして令和5年度は・・・

このプロジェクトは、子どもたちの願いや発想を大切にすることが大前提です。そこで、まずは各クラスで夢を話し合いました。「こんな学校にしたいな」「こんなものがあっていいな」「こんなことできないかな」各クラスからたくさんの夢が集まりました。

各クラスの代表が集まる児童会の代表委員会で夢を集約したのが5月。予算の面や施設関係の面で制約もあり、代表委員会や児童会運営委員会で話し合いを重ねた結果、今年の夢づくりプロジェクトに決まったのが「日吉台ほっとステーション」です。

運動場に休憩するところがほしいな

去年の6年が作ったテーブルとイスを使いたいな

日吉台ほっとステーションを作ろう！

全校児童126名の思いを込めるために、一人一枚オリジナルのタイルを作り、ステーションにはめ込むことにしました。タイルを焼いてもらうための下絵は、特殊な紙に特殊な絵の具で描きます。低学年の子どもたちは、ひよサポの保護者や地域の方々を手伝ってもらいました。世界に一つだけのオリジナルタイル。素敵なタイルが焼きあがりました。

12月、いよいよステーションの工事が始まりました。手がけてくださったのは、保護者でもある津田左官工業の津田裕之さんと津田勝輝さんです。時間をかけ、土台からしっかりしたものをつくってくださいました。





2月、焼きあがったタイルをいよいよステーションにはめ込んでもらいました。子ども一人一人が自分のタイルを津田さんにてわたし、津田さんは一枚一枚丁寧にはめ込んでくださいました。子どもたちは、自分のタイルがはめ込まれる様子をうれしそうに見ていました。次の日には最後の仕上げをしてくださり、ほっとステーションが完成！



屋根付きのほっとステーションにできなかったのが残念ですが、素敵なほっとステーションが出来上がりました。天気の良い日にはテーブルとイスを出しています。休み時間、子どもたちはイスに座り、友だちとおしゃべりをしたり、お茶を飲んだりしている姿が見られます。見守り隊で見守りに来てくださった地域や保護者の方々とも子どもたちがおしゃべりする姿も見られるといいなあと思います。

今年度の学校夢づくりプロジェクトも、たくさんの方々にお世話になりました。企画段階でいろいろと相談にのってくださった学校運営委員会の地域学校協働活動推進委員の山下さんやPTA会長の山本さんはじめPTA本部の皆さん。何より、日吉台小学校の子どもたちのためにと土台からしっかりしたステーションをつくってくださった津田さん。皆さん、本当にありがとうございました。

晴れた日にはテーブルとイスを出します。もし、テーブルといすが出ていたら、大切に使うてください。世界にたった一つのタイル126枚もぜひ一枚一枚ゆっくりとご鑑賞ください。

